

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 3 第 1 2 号	受理年月日	令和 3 年 6 月 8 日
件 名	区立児童館及び学童保育クラブ民営化計画素案に関する陳情		

【陳情の趣旨】

緑が丘児童館と児童館併設の学童保育クラブの民営化計画については、まずは慎重に議論や調査を行っていただくよう要望します。

コロナ禍で十分な情報周知がされていない中、無理に計画案を進めることはせず、感染状況が落ち着いた後に改めて説明期間を設けてください。

区立児童館及び学童保育クラブ民営化計画素案（令和 3 年度～ 8 年度）によりますと、緑が丘児童館と児童館併設の学童保育クラブが令和 8 年度に民営化の対象となっています。

緑が丘児童館・学童保育クラブは長年に渡り、自由が丘住区住民会議や緑ヶ丘小学校 P T A、緑ヶ丘学童保育クラブ父母会等の地域団体と連携し、西部地区の拠点として子どもの育ちに貢献してきました。先生方は子どもたち一人ひとりを気かけ、同じ目線で笑い合ったり、悪いことをしたら叱ったりと親身になって指導してくださり、子どもたちも楽しくのびのびと過ごしております。長年勤務されているベテランの先生方には、子どものことを乳幼児の頃から見守り続けていただいております。保護者は子育ての相談をする等、とても頼りにしています。住区住民会議などの地域や保護者との信頼関係の中で子どもも安心して緑が丘児童館・学童保育クラブで過ごせています。

しかし、長い年月をかけて培われてきた素晴らしい絆が民営化により失われ、ゼロからのリスタートになることは、地域にとって大きな損失だと考えます。とくに、いまは新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言中で、感染症対策のため職員の方には日々、多大な負荷がかかっています。さらに、子どもたちのために新しいスタイルの学び方・遊び方を探している中で、時間と労力を民営化の検討に注力するよりも、区全体で子ども達に向き合うことを優先していただきたいです。

民営化の理由に、中高生対応での利用時間の延長をあげられています。しかし、現状でも開館時間を延長して中高生向けのイベントを行うなど、中高生対応を行っております。

本当に恒常的な時間延長の必要が緑が丘児童館にあるのか、どのような方法であれば利用するのか、具体的に中高生が「緑が丘児童館に対して」どのようなことを望んでいるのかについて、区は調査していないと説明されています。目黒区子ども条例第 1 2 条で「子どもは、自分にかかわりのあることについて意見を述べたり、仲間をつくったり、様々な活動に参加したりする権利が尊重されなければなりません。大人は、子どもの意見を受け止めるよう努めなければなりません」と定めています。さらに第 1 3 条で区は「区政、施設の運営や行事への子どもの意見の反映」と書かれています。民営化の理由に中高生の居場所作りを掲げ

るのであれば、当該施設を利用できる対象地域の中高生に対しても十分に耳を傾け、運営へ反映させることを望みます。

年初から緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が出されています。そのため、政府や目黒区長の呼びかけに協力して、外出を自粛されている保護者や地域の方の中には、民営化について知らない方もおり、十分な周知が図られているとは言えません。緑が丘学童父母会内で民営化についてのアンケートを実施したところ、利用者でも理解が浸透していないことが明らかになりました。保護者向け説明会が、緊急事態宣言中の日曜日夜に、区役所内において対面形式のみで開催されたため、結果的に参加者が限定されたことも要因の一つと考えられます。そして、学童を利用している保護者だけでなく民営化が予定されている時期に学童を利用するであろう保護者を含め、広く情報を発信し、計画案を決める前に保護者や地域に対して丁寧な説明が必要です。

また、子ども、保護者、地域、児童館・学童保育クラブの先生と一体となって実践して歩んでいけるのかという懸念や要望があるのに、これに対する説明や対応は十分になされていないとして、民営化には反対の声が根強くあり、その懸念は傾聴に値するものばかりです。これらの懸念を解消していくためにも、まずは慎重に議論や調査を行っていただくよう要望します。

区全体からすれば1児童館・学童なのかもしれませんが、地域にとって民営化は、とても大きな変更です。ましてや緑が丘児童館は西部地区の中核となる施設で、地域連携の要です。

緑が丘については、計画素案で最終盤に予定されていることもあり、議論を差し置いて進めるほどの緊急性は見当たりません。そこで、感染状況が落ち着くまでは、ひとまず延期することなども含め、丁寧で慎重な議論の上で進めていただくようお願いいたします。

【陳情事項】

1 民営化に割いているヒューマンリソースをコロナ対策に充ててください

子どもたちにも感染が広がる新型コロナウイルス変異株が出現するなど、先が読めない緊急事態宣言下で、人的なものを含めた区の資源をコロナ対策に最優先に割り当てて、感染抑制やコロナ禍で困っている区民のために全力を傾けていただきたいです。その後、感染状況が落ち着いた段階で、議論を進めていただくようお願いします。緑が丘については、計画素案で最終盤に予定されていることもあり、議論を差し置いて進めるほどの緊急性は見当たりません。そこで、感染状況が落ち着くまでは、ひとまず延期することなども含め、丁寧で慎重な議論の上で進めていただくようお願いいたします。

2 緑が丘児童館の利用に関し、中高生に向けて利用者アンケートを実施してください

本計画では、中高生の居場所作りを大きな柱の1つと謳っているのに、特定の児童館の利用者に対する調査は実施していないと聞いております。緑が丘児童館では、既に、中高生向けのイベントを行う日は開館時間を延長する等の中高生対

応を行っております。実際に緑が丘児童館を利用している中高生がどのような点を望んでいるのか、「目黒区子ども条例」に基づき子どもたちが意見を述べる機会を保障し、施設運営へ反映するため、当事者にアンケートを実施してください。子どもたちもコロナ禍で遊び方や物の見方が変わり、施設への要望も変化していると考えられます。ニーズに即したサービスプラン案を出し、それは公営でも実施可能かどうか検討をお願いします。もし民営でなければならないと判断されるのならば、緑が丘児童館である必然性を具体的な数字をもって、お示してください。

3 学童を利用する保護者に向けて説明会を開催してください（オンライン併用）

父母会内で民営化に対するアンケートを実施したところ、過半数が「どちらとも言えない」と回答しました。理由に、本計画に関する理解・把握不足が挙げられており、ほんの一部の保護者にしか伝わっておりませんでした。実際に学童を利用し、あるいは、今後利用するであろう保護者にも十分な情報周知がされていない中、本計画が推進されている現状に大きな不安を感じております。「百聞は一見に如かず」なので、再度説明会開催を希望します。なお、前回の保護者説明会に至っては、日曜日の１７時という時間帯により、参加をしたくてもできなかった方もいたため、多くの保護者が参加できるような時間帯かつオンライン併用をお願いします。

4 緑が丘、自由が丘の地域に住む住民向けの説明会を開催してください

緑が丘児童館・学童保育クラブは長年に渡り、自由が丘住区住民会議や緑ヶ丘小学校PTA、緑ヶ丘学童保育クラブ父母会等の地域団体と連携し、西部地区の拠点として子どもの育ちに貢献してきました。今回の民営化計画素案は、この地域の絆に大きな影響を与える可能性があるため、地域住民に向けた説明会の開催を希望いたします。前回の区民向けの説明会は、この地域から離れた目黒区民センターで行われたため、参加者が限られてしまいました。多くの地域住民が参加できるよう、緑ヶ丘小学校体育館等の地元にある施設での開催を望みます。